

青森県立青森南高等学校

JRC・ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2022

被災地交流とSDGs



青森南高校JRC部の中には、「読み聞かせ隊」というものがあります。読み聞かせ隊は、幼稚園や保育園、小学校の放課後児童会、図書館、地域のイベントで、子供たちに読み聞かせをしています。普段は、学校でコーチの先生の指導の下、読み聞かせの技術を磨き、練習に励んでいます。しかし、近年は、新型コロナウイルスの影響で、受け入れが難しくなり、子供たちの前で、絵本を読む機会が減ってしまいました。現在は、徐々に活動の幅を広げていき、子供たちに楽しんでもらえるような読み聞かせを目指しています。

一昨年までは毎年8月に、青森中央高校の皆さんと三陸復興応援事業に参加してきました。被災された岩手県の大槌高校の皆さんと交流し、定点観測を見学させていただきました。これは、震災について改めて考えることができた貴重な経験となりました。また、大槌高校の皆さんと読み聞かせの交流も行い、近くのこども園にうかがって、絵本を読みました。読み聞かせを喜んでもらうことができ、よかったです。昨年は、この事業が中止になってしまい、交流ができていなかったのですが、今年は行く予定です。被災地の復興について学んだり、読み聞かせのやり方を教えあって、実際に読んでみたいと思います。

他にも私たちは、青森中央短期大学との交流も行っています。学生さんたちと読み聞かせの技術を磨きあって、大学の付属幼稚園で、読み聞かせをしました。そして、絵本の中に登場したパンケーキを子供たちと一緒に作りました。子供たちの楽しそうな顔を見ると、とてもやりがいを感じました。また、昨年から大学の先生方から、学生の皆さんと一緒に絵本の作り方を学び、オリジナルの絵本を作る活動も行っています。絵本作りにおけるストーリーの構成の仕方やイラストの種類など、詳しく教えていただきました。完成したら、子供たちの前で披露する予定です。



持続可能なボランティア



青森南高校のJRC部では、持続可能なボランティア活動を目指して活動していきたいと考えています。

JRC部では毎週月曜日にはSDGsに関わる手芸を行っています。捨ててしまうペットボトルキャップや新聞紙などといったものを再利用して、キャップクリップや新聞バックなど普段使えるようなものに作りかえています。そのほかにも、例えば使わなくなった洋服をカバンや巾着袋、ティッシュケースにしたり、ペットボトルを剣玉などの子供が遊べるようなものやランタンなどのインテリアになるものにしたりできると思います。作れるものはたくさんあるので、これからも作ってまいります。そして、作ったものを児童会などに寄付したり、文化祭で売って収益を寄付したり、作り方を教える機会を作ったりしたいです。文化祭では、「フェアトレード」という発展途上国から公正な価格で商品を買取り、販売する活動もしました。世界にも目を向けて、支援する活動も行っています。

私たちはこれから「持続可能なボランティア」をしていくために一人一人が意識を高めて未来につなげることを考えながら、活動していきます。

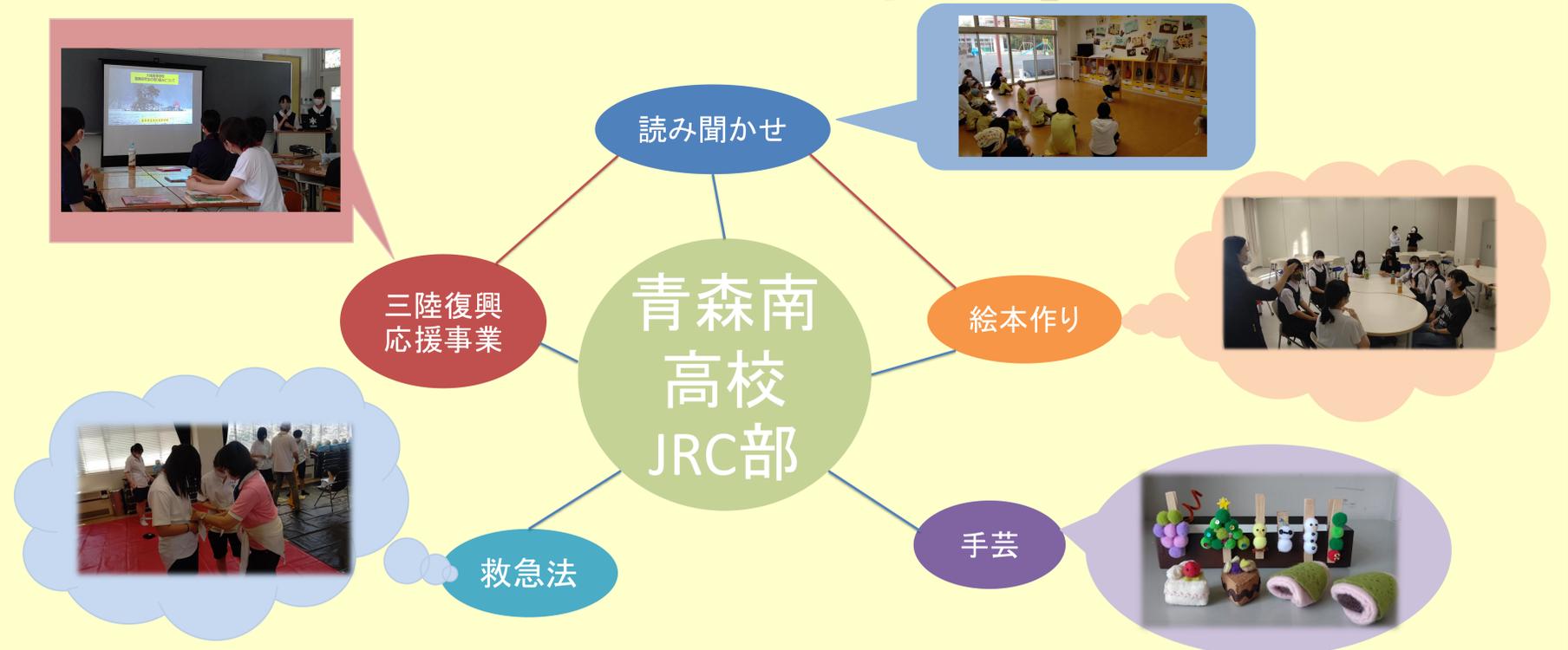


新聞バック



ペットボトルキャップクリップ

「小さなことから一歩ずつ」



私たちにできること

SDGsの「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」といった目標を達成するために募金活動を行ったり、子供たちが遊べるようなボールや使わなくなった鉛筆などを寄付してもらい、貧困などに苦しんでいる発展途上国に届けることができる協会に送りたいと思っています。



また、先輩方がおこなってきた、「海の豊かさを守ろう」や「森の豊かさを守ろう」の目標に関するゴミ拾い活動を、私たちも続けていく予定です。ゴミのポイ捨てを注意喚起する看板や旗を立てることでゴミのポイ捨てされる量は減少すると考えました。そしてゴミ拾いなどでゴミが減少したら海の動物たちが間違えてプラスチックのゴミを飲み込んでしまうことがなくなって、動物たちが死んでしまうことは少しでもなくなると思います。



拾うのはゴミだけでなく、松の葉や松ぼっくりも拾って欲しいのだそうです。こんな小さなことからでもボランティアを続けることで環境を守ることにつながると思います。今年の夏に青森市内の高校のJRC部員に呼びかけて、合浦公園のゴミ拾い清掃活動をみんなで行うことになりました。自分たちだけで行うことも大切ですが、仲間を増やしてみんなで楽しく活動していきたいと思っています。

集合写真



活動団体プロフィール



青森南高校JRC部は令和元年より名称がJRC・ボランティア部となりました。従来の青少年赤十字の活動だけでなく、様々なボランティア活動を、SDGs、持続可能な観点から「先輩から後輩へ」を目標に活動しています。

読み聞かせも、絵本作りも、三陸復興応援事業も、リサイクルものづくりも、全ての活動が先輩方から引き継ぎ、受け継いできている活動です。1度やったら終わりではなく、後輩に繋げていくことを意識しています。誰かがやる→私がやる！→私たちがやる！！→みんなで作る！！をモットーにこれからも青少年赤十字活動とともに、ボランティア活動にも力をいれて、みんなで頑張っていきます。